

## R7.9.28 総合会議（第2回）からの意見

### テーマ：『こどもたちが自分の意見や考えを話しやすい場所・仕組みづくりについて』

★・・・各グループで絞り込んだ優先して実現したいアイデア

下線・・・こどもの意見

#### <シロモチくんチーム（小学生）>

●話すのががてな人のはなす機会を作る●

★意見箱の設置（参加小学生の学校には意見箱がないから）

- ・タブレット学習でクラスのみんなには誰が書いたものかわからないようにする（先生だけわかる）
- ・視線ややさしい気持ちで話しやすいふんいきを作る
- ・一つ（ひとり）にスポットを当てるのではなく、全体的にあてるような
- ・少人数で意見出し、発表は得意な子が行う
- ・みんなの前で話すのが苦手な人は別室で動画をとる

●意見を言う機会を作る●

- ・空き教室でいろいろな学年の子たちと自由に雑談や遊びができる（昼休みや20分休憩などを活用）
- ・学校の空き教室を使用して全学年の雑談時間を作る
- ・全学年ごちゃまぜで勉強する
- ・校長先生・教頭先生との雑談会
- ・この会議のような話し合いの場をたくさんもうける  
⇒参加者をふやすには、人や物でこどもを釣る（市長と会える、図書カードがもらえるなど）
- ・授業参観を増やす（親にいいところを見せたいから）
- ・楽しいイベントなどをして、最後にみんなに感想を言ってもらう

#### <みすぎんチーム（中学生）>

●大人と話す機会●

★こども会議のような場を継続（このような場がこどものためにも地域のためにもなる）

- ・意見を言う場所の提供
- ・こどもと行政の人が直接対話する
- ・地域や大人との関わり
- ・こども会などの充実
- ・大人と関わる機会を作る

●みんなの理解●

- ・自分の意見を言っても否定されない、安心できる環境づくり
- ・聞く側の姿勢について考え実践する機会を作る
- ・各家庭の意見を吸い上げる
- ・大人の理解推進、促進
- ・大人がこどもの意見を聴く（権利の主体として）

●学校でできること●

- ・ 学校で考える時間を作る!
- ・ 学校で自分の意見を話すように教える
- ・ 意見を表明できる子どもの教育
- ・ こどもが意見を言える材料の提供

●こどもたちに関わること●

- ・ 公園とかにこどもたちの意見箱
- ・ 公園などに好きな遊具を置く
- ・ 画面に頼らない生きた遊び

<ツッキーチーム (高校生) >

★四角の中が絞り込んだ優先して  
実現したいアイデア

●こども同士の交流の場●

- ・ 中学校区内で各小学校の交流の場を作る
- ・ 生徒会長同士が意見交換できる場がほしい
- ・ こども同士関わる機会
- ・ 中高生が小学生に何かを教える

●津市と話し合う機会●

- ・ 各小中学校の児童会、生徒会と市側との意見交換の場を作る(年間を通してすこしずつ実施するなど)
- ・ こどもが発言できる場

●こどもと大人が話し合う機会●

- ・ 各PTAとこどもたちのしゃべり場を作る
- ・ さまざまな年代の人との交流

⇒納得感のあるフィードバック (上記の3つとも的小テーマに対して)

●こども主体プロジェクト●

- ・ こども中心
- ・ こどもが主体で動けるプロジェクトを作る(意見をださないと始まらないから意見を出す機会になる)
- ・ お祭りに出店する  
(津まつりの出店など、こどもだけでもできる規模で)

●匿名性のある意見を拾う手段●

- ・ 匿名性が高い※要年齢確認
- ・ タブレット有効活用
- ・ 本音で意見が出せる場  
(声なき声をひろう)

■ファシリテーター

今日出た意見をどのように社会、地域、家庭へつなげていくのかというところを、今日出していた  
だいた具体的な方策、あるいはプラスアルファの方策も考えながら検討していけたらと思います。

またこども主体の活動も立ち上げてみたらどうかという意見もあったので、これも検討していく  
こともできるかもしれません。

こども会議の報告、遊び場の報告を踏まえ、総合会議でおおまかな方向性を示していただきました。

# 話す機会を作る

話すのがじがてなの  
（おなす木幾会を作る）

# 意見を言う 木幾会を作る



カブト着明で  
先生はみんなの前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で

先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で

1つにスポットを  
あてるのではなく  
全体的にする  
とは……

少人数で  
意見出し  
得意の子が発表

先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で  
先生は先生の前で

意見箱  
の  
設置



30  
46

30  
46

授業参観  
（親にいいところ  
みせてもらう）

先生の代わり  
として、最後に  
先生に感想を  
言ってもら

人本物の様子を  
撮る

この会議の  
結果を  
この会議の  
話し合いの場  
で伝える

空き教室を  
色んな学年の子  
と自由に  
雑談できる

学校の空き教室を  
使用して全学年の  
雑談時間と  
作る。

全学年ごとの  
不発射

校長、教頭先生  
の雑談会

子どもが意見を言う  
場の提供

学校イ考える  
時間を作る

学校で  
自分の意見を  
おぼやうに伝える

意見を表明して  
まろ子どもの教育

学校でできること



大人と話す機会

子ども会議の  
よりな場を  
継続

子ども会などの  
充実

学校と言う  
場新の提供

子どもと  
行政の人が  
直接対話する

地域や  
大人との  
関わり

大人と関わる  
機会を作る

公園とかに  
子どもたちの  
意見箱

公園などに  
好きな遊具を置く

子どもたちに関わること

みんなの理解

自分の意見を言っても  
否定されない、  
安心できる環境作り

聞く側の姿勢に  
ついて考え、実践  
する機会を作る

各家庭の  
意見を吸い上げる

大人の  
理解推進  
促進

画面に頼ら  
ない生きた  
遊び

大人が子どもの  
意見を聞く  
(権利の正体は)

# 子ども同士の交流の場

中学校区内で  
各小中学校の交流の  
場を作る。

生徒会長  
同士の意見交換  
できる場がほしい

子ども同士  
関わる機会

中高生が  
小学生に  
たいへん  
教える

各小中学校の児童  
・生徒会と市側との  
意見交換の場を作る

子どもが  
発言できる  
場

津あど話し合う機会

納得感の  
高まる  
場

子どもと大人が  
話し合う機会

各PTAと子どもたち  
の話し合い場を作る

さまざまな  
年代の人との  
交流

# 匿名性のある 意見と拾う手段

匿名性が高い Q&A 本音で意見が  
出やすい場  
※年齢確認 有効活用

(声なき声を集める)



# 子ども主体 プロジェクト

子ども  
中心

子どもが  
主体で  
動くプロジェクト  
をつくる

お祭り  
に出る子

(津まつり)